

## 第3号議案

### 西地区自治振興会 地域自治振興計画（案）

計画期間 令和7年度～令和9年度（3か年）

#### 1 地区の現状

- (1) 西地区には歴史や文化の史跡等が数多くあり、「西地区お宝マップ」にもまとめられている。「地域の宝」を生かした行事や企画には多くの地区民が参加している。
- (2) 「高齢者見守り事業」や「高齢者の生きがい作り」に各町内が積極的に取り組んでいる。地域支え合い推進事業では毎年3町内をモデル町として指定し、活動の成果が多くの町内で現れ始めている。  
また、多くの町内で「町内福祉連絡会」や「いきいきふれあいのつどい」が開催され、民生・児童委員や福祉推進員と連携を図りながら高齢者見守りの機運は次第に高まっている。
- (3) 全体の2割を越える外国籍の地区民が居住しているが、地区体育祭、ふれあいフェスタ、文化祭など多くの行事等に参加するようになってきている。
- (4) 「ふれあいフェスタ」「西地区文化祭」で中高校生のボランティアを募ったところ、人数は少なかつたものの積極的に協力してくれ、若い世代の活躍の場を作ることができた。
- (5) 各学校、こども園や体協など各団体との緊密な連絡調整を図り、行事等調整会を通して相互の協力体制を築くことができるようになった。

#### 2 地区の課題

- (1) 役員が固定化し、なり手がなかなか見つからない。  
各部の部員など女性の役員は比較的多いが、区長や各部の部長など要職に占める女性の割合は極めて少ない。
- (2) SNS を活用した企画・運営はまだまだ不十分で、今後はLINE公式アカウントを活用し、広く地区民に行事の通知や結果などの情報等を発信していきながら地域への関心を高める機会としていきたい。
- (3) 外国籍の地区民の安全・安心な暮らしについて、地区や町内の防災訓練を通して安全・安心な暮らしを実現していきたい。

#### 3 地区の将来像

キャッチコピー『地区民の活力と地区の宝を生かした

笑顔あふれる住みよい町をめざして』

- (1) 各町内の活性化を図りながら住民参加の生き生きとした活力のあるまち
- (2) 地域住民が、安全で安心して生活できるまち
- (3) 故郷が好きと言える青少年が育つまち
- (4) 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち

- (5) 正しい食生活と運動を通し、健康で元気なまち
- (6) 恵み豊かな自然の中で環境と調和したまち
- (7) 歴史と文化の薫るまち
- (8) 多文化の違いを理解し多様性を尊重し合い、共生しあえるまち
- (9) 地域の男女が共に、“協働したまちづくり”をめざすまち
- (10) 持続可能な地域コミュニティの再生をめざすまち
  - 各種団体との連携強化を図る中で、中高校生をはじめとした若い世代の活躍の場を作ったり、高齢者の生きがいづくりや外国籍地区民との交流を増やしたりする中で、活力ある地域作りに努める。
  - すべての地区民がデジタル化によるメリットを享受できるように、多くの情報を発信し地域への関心を高める機会とする。
  - 地区民の生命・財産を守る地域防災力の充実強化（SNS 活用も含む）を図りながら、安全・安心な暮らしの実現に努める。特に、地区や町内の防災訓練において外国籍の地区民への情報発信を図りながら地域防災力の向上をめざす。

